

|     |                 |      |     |     |           |
|-----|-----------------|------|-----|-----|-----------|
| 校 種 | 小 ・ 中<br>どちらかに○ | 学校番号 | 1 3 | 学校名 | 宇都宮市立峰小学校 |
|-----|-----------------|------|-----|-----|-----------|

## 令和3年度 学習指導に関する取組

### 1 学習指導上の主な実態

#### (1) 県・市の学力調査などから

- ・ 国語は、「読むこと」では4年が市の平均を3.5ポイント、5年は0.3ポイント上回り、6年は10.4ポイント上回った。日々の学習において、文章の大意を捉えて読むことを意識して指導してきた成果と言える。また、「書くこと」では、4年が市の平均を3.9ポイント上回り、5年が6.7ポイント下回った。また6年の学習内容定着度調査においては10.4%上回った。昨年度の調査結果を踏まえ指導してきた成果が見られつつあるので、今後も引き続き、考えの共通点や相違点を整理し、題意に沿って分かりやすく書く力を高めるられるように指導していく。
- ・ 算数は、各学年すべての領域において市の平均を上回った。特に、「数と計算」で市の平均を、4年が0.8ポイント、5年が2.4ポイント、6年が10.8ポイント上回った。「図形」においても、市の平均を4年が0.7ポイント、5年が4.7ポイント、6年が10.1ポイント上回った。今後さらに、学習したことを活用して解決を図るような問題場面や学習課題を意図的に設定していく。
- ・ 社会は、6年が「国土の自然環境などの様子」で市の平均を9.4ポイント上回った。「農業や水産業」「工業産業」「日本の政治」「日本の歴史」でも市の平均を上回ったが、「産業と情報の関わり」で市の平均を下回った。今後も、基礎的な事項をしっかりと押さえ、自分の考えを深めるための話し合い活動を取り入れた授業を展開していく。
- ・ 理科は、「物質とエネルギー」において、市の平均を4年が2.8ポイント、6年が8.9ポイント上回り5年が2.4ポイント下回った。また、「生命・地球」では、市の平均を4年が4.9ポイント、6年が4.6ポイント上回り、5年が1.5ポイント下回った。観察・実験を行う際に、予想や計画を立て学習の見通しをもたせると共に観察・実験の結果を基に、判断した根拠や理由を説明できるようにする。

#### (2) 県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・ 「授業の始まりには席に着いている」「話を最後まできちんと聞いている」については、全学年において肯定割合が90%以上だった。3～6年の「授業を集中して受けている」についても、ほぼ全学年において肯定割合が90%以上であった。引き続き、地域学校園内で共通して、「授業開始前に次の学習準備」「あいさつ（語先後礼）」「返事」を重点的に指導し、よい学習習慣が身に付くように努めるとともにコミュニケーション能力の更なる育成に努める。
- ・ 「宿題はきちんとやり、期限までに提出する」は、ほぼ全学年で肯定割合が90%を上回ったが3～6年の「自分で計画を立てて学習に取り組んでいる」の肯定割合はいずれも市の平均を下回った。家庭学習の計画の立て方や進め方などの指導を明確化して、今後より一層家庭と連携し、家庭学習を推進することにより、確かな学力の定着を図る。

#### (3) 授業等への取組状況から

全体的に授業への関心・意欲が高く、課題に真面目に取り組む。また、自分の意見を発表しようとする意欲も高く、「自分の考えを根拠をあげながら話すことができる」と回答する児童も多い。また、「ものごとを比べながら考えることができる」「ものごとをいろいろな視点や立場から考えることができる」と回答する児童も多いことから、これまで学校課題に「コミュニケーション能力の育成」を掲げ取り組んできた成果として客観的に物事を考える力はついてきたと考えられる。

### 2 今年度の重点目標

- (1) 地域学校園：「地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、確かな学力の定着を図り心豊かでたくましく生きる子どもの育成」
- (2) 峰小学校：「ともに学び合い、生き生きと活動する児童の育成」  
～ I C Tを活用して、児童の主体的な学びを育てる授業の工夫～

**3 今年度の取組**（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★、「令和3年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

(1) 基礎・基本の確実な定着を目指した日々の学習とまとめの学習の充実

- 地域学校園統一の掲示資料の活用や、教材を活用した聞き取り、発声のトレーニングと適切な評価による話の聞き方、話し方の技能向上（通年）
- 教材や I C T等を効果的に活用した授業展開、問題解決的な学習の充実（通年）
  - ・ ノートの使い方や発表の仕方などの基本的学習技能の定着（通年）
  - ・ 「できた」「分かった」が実感できる「分かる授業」の展開と個に応じた指導の充実（通年）
- 目標やめあてに基づき学んだことを振り返る活動の充実と振り返りを意識した学習展開の工夫、**学び合える活動等の工夫**（通年）
- 「思考力」「判断力」「表現力」の育成を目指した日々の学習とまとめの学習の充実（通年）
- 「学習の約束」を活用した次の授業の準備、チャイム着席、返事、授業開始終了の挨拶（語先後礼）の徹底（通年）
  - ・ 漢字・計算定着のためのステップアップシートの活用、朝の学習での反復練習（通年）
- ★□ 「家庭学習の手引き」の活用や「家庭学習がんばり週間」の実施による家庭学習の習慣化
- ★□ 各種学力調査結果を踏まえての復習やまとめの学習の実施（通年）

(2) 読書活動の充実

- 朝の読書タイムの確実な実施による読書活動の推進（週2回）
- 読書の推奨や自分の読書活動を振り返る「みね読書人」の取組（通年）
  - ・ 読み聞かせボランティア（モーニングブック）による読書活動の推進（**月**1回）

(3) 「コミュニケーション能力の育成」を図るための授業研究

- 自分の考えをもった上で、友達と積極的に意見を交流し、自らの考えを修正したり深めたりできるよう協働して課題に取り組む態度の育成（通年）
- ★○ 望ましい人間関係に根差した「考え、議論する」授業研究（通年）
- コミュニケーション能力の育成を目指した「一人一授業」の公開（通年）

(4) 家庭・地域との連携・協力

- ・ 保護者懇談会における、学習内容定着度調査、学習と生活についてのアンケートの結果を生かした学習指導の説明及び家庭学習の大切さについての啓発
- ・ 「街の先生」、宇都宮大学のボランティアなどの協力を得た授業や学習支援の実施
- ・ 宮っ子ステーション「峰の寺子屋」の実践活動
- ・ 学校支援ボランティアの活用（学習支援、環境整備、安全指導等）